同窓会だより

編集・発行
愛知県立丹羽高等学校同窓会
丹羽郡扶桑町大字高雄字柳前95
電話（0587）93-7575
－第23号－
題字　井口ひとみ

退職された先生

丹羽高校の応援団より

近藤喜美代

丹羽高校での三年間。それは私にとって、大変充実した日々でした。教員生活最後の三年間を、丹羽高校で皆さんと過ごすことができて、本当に幸せでした。

丹羽高校の生徒は明るく元気で、廊下などで出会うと、会釈をしてくれたり、話しかけてくれたりしました。また、部活動などを応援に行くと、大きな声で挨拶をしてくれました。そのたびに私は、教員をしていてよかったとよく思いました。

丹羽高校には、素晴らしい校歌があります。一番にある「尾張平野が果て遠く開けはじめるこのあたり」というフレーズが、私は好きです。イメージされる雄大さは、丹羽高校の力を象徴していると思います。この校歌にあるように、生徒たちが、勉学にも部活動にも、また丹霄祭を始めとする学校行事にも力いっぱい励んで、尾張のみならず、社会の要として活躍できる豊かな人間に成長してほしいと常に願っています。

丹羽高校は、二十一年度に三十六回生を迎え入れ、一回生から三十三回生まで、送り出した卒業生は、12，529名となります。巣立っていった皆さん一人一人が、伸びやかに力を発揮し、十年後も二十年後も、丹羽高校の卒業生としての誇りをもち、品位に満ちた人物として、社会に貢献することを望みます。

私は、いつでも丹羽高校の応援団です。いろいろなところで丹羽高校という名前を聞くことを楽しみにしています。

正門横のひとつばたごが、今年も美しい花をつけました。いつも生徒たちを見守り続けたこの大木だけでなく、たくさんの人たちが、丹羽高校を大切に思っています。先輩方が築いてきた伝統を継承しながら、時代の要請にも迅速に応えつつ、丹羽高校が永遠に元気であることを心から願っています。

これからの人生

柴田　恭志

三十八年間の教員生活、その内の七年間を丹羽高等学校でお世話になりました。

炎天下におけるグラウンドでの授業や寒くても素足で頑張った柔道、球技大会や修学旅行などなど、楽しかったことや苦しかった思い出は尽きません。最後の数年間は身体がついてゆかず大変でした。

そんな私を和ませてくれたのが四季の変化の美しさや、落ち着いた雰囲気の中での生活でした。

今までは、一日一日を精一杯自分なりに頑張ってきましたが、今後はのんびりと自分らしさを前面に出しながら生活するつもりです。

「ボケずに長生きしなはれや」
年をとったら　出しゃばらず
憎まれ口に　泣きごとに
他人のことは　ほめなはれ
聞かれりゃ教えてあげてでも
知ってることも　知らんふり
いつでも阿呆でいるこっちゃ
（寺の配布物より一部抜粋）

なかなか自分の希望に添うようにはいかないかとは思いますが、少なくとも他人に迷惑をかけず感謝されることに重点をおくつもりです。

最後になりましたが、皆さんには自分の可能性を信じ、目標に向かって努力することを惜しまないで下さい。

大切にしたい伝統

吉田　正明

丹羽高校に在職して八年、そして同時に三十八年間にわたる教員生活を無事に終えることができほっとしているところです。教職を離れてはや一カ月余が過ぎましたが、在職中の多忙な生活のリズムとはあまりにも異なり、少々とまどいを感じている今日この頃です。健康に留意して有意義な日々を送りたいと考えております。

さて、丹羽高校での思い出は何といっても生徒自らの手で企画・運営される丹霄祭や球技大会等の生徒会行事で発揮される若さあふれるエネルギーや生徒の団結力であります。よく工夫されたオリマスやグラウンド狭しとくりひろげられるパフォーマンスを見るのが私の楽しみの一つでした。また、球技大会では自分のチームやクラスのために真剣にプレイする選手をよく応援したものでした。

部活動でも、毎日のきびしい練習に耐え、技術の向上に励み、精神力を鍛え人間的に大きく成長していく生徒諸君の姿を見るのも教師としての大きな喜びでした。

こうした自主性を大切にする活動こそ丹羽高校の良き伝統としてぜひ受け継いでいってもらいたいと思います。また、こうした自主活動において、校訓の「自律・独創・剛健」の精神が見事に実践されているといっても過言ではありません。

丹羽高校は、一九七〇年代に愛知県の各地域で高校増設の運動が活発にくりひろげられたその流れの中で設立された高校の一つです。今後も地域の大切な学校としていっそ

う発展していくことを心から願っています。

最後になりましたが、同窓生皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

最後の担任

河井　良又

丹羽高校では十一年間過ごしましたが、最後に三年間担任をして、定年退職を迎えることができたのは本当に幸せでした。これも、いい生徒たち、いろいろな場面で支えていただいた多くの先生方、家族のおかげだと思っています。特に二、三年生の時に、男クラの生徒たちと過ごした日々は一生に残る思い出になりました。よく叱りました、よく文句を言いました、よく怒りました、そしてよく笑いました。当然、叱った時、叱られた時はお互いに気分が悪くなりましたが、嫌な気持ちを引きずるようなことは、あまりありませんでした。ある意味、大人の対応をしてくれました。

普段は、幼くていいかげんでも、何かに取り組む時には、すばらしい協力性と集中力を発揮しました。文化祭の時の映画の上映が、その典型でした。何人かの生徒は数日間徹夜をして映画を完成させたと後で聞いた時は頭が下がりました。卒業式の日にもらった彼らが作った映画のＤＶＤは宝物です。

残念なことは、多くの生徒に第一希望の大学に入るという目標を達成させてやることができなかったことですが、彼らのことだから、今頃はそれぞれに進んだ道で頑張っていると思います。自分の本当にやりたいことを見つけて夢を実現してくれることを心から願っています。

男クラの生徒諸君に感謝、そして最後に担任をやらせてもらった丹羽高校にただただ感謝。

本当にありがとうございました。

退職で想うこと

大橋　礼子

十年間お世話になり、このたび無事卒業（退職）を迎えることになりました。丹羽高校には、亡き夫も十一年間お世話になり、合わせて二十一年に渡り関わる事ができたことは、とても縁を感じます。

この間に、丹羽高校は大きく様変わりをしました。教科（家庭）から見ても、男女共修で、四単位あった授業が、二単位に半減し、授業時間も五十分から四十六分になり実習を伴う教科としては、大変苦慮を強いられ、常に試行錯誤の毎日でした。

そんな中でも入学した生徒さん全員と、さらに三年生の選択（フードデザイン）でかかわることができたことは、良き思い出になっています。

今では、準備室に居ると聞こえてきた元気な声や様々な楽器の音色、運動場からの活気ある部活動の様子や季節を感じさせる木々が、懐かしく蘇えって来ます。

これからも、部活動の活躍状況を新聞紙上やケーブルテレビ等で拝見して応援し続けて行きたいと思っています。

現在わたしは、非常勤講師として週二日健康と良い刺激を受ける為にと思い、片道一時間超かけて、名古屋の高校に通っています。帰路は美術館やデパート巡りをして、ゆとりの時間を満喫しながら過ごしています。

今後は、わたしに与えられた余命を、ゆっくり模索しながら歩いていけたらと思っています。

皆様には、また何処かで、お会いすることがあると思います。そんな時は、気軽に声をかけて頂ければ嬉しく思います。

丹羽高校の益々のご発展と皆様のご活躍を卒業生（？）として祈願しております。

転出された先生

丹羽高校での五年間

森崎　忠彦

平成十六年度から五年間、本校に教頭としてお世話になりました。

この五年間は、学校を取り巻く環境が大きく変化した時期でもあり、学校評議員制度、学校評価制度、教職員評価制度、総務事務システム（教員の旅費・手当・休暇申請等のＯＡ化・一元化）等の新しい制度が矢継ぎ早に導入されました。

一方、本校独自の変化としては、学級数の減少、入学者選抜制度におけるグループ変えに加え、単位数の増加及びそれに伴う四十六分授業の実施、保護者のご支援による全教室への空調設備の設置などが行われました。

今年度から別の学校に籍を移しましたが、丹羽高校のますますのご発展を陰ながらお祈りしております。

初心に向かって邁進したい

椎葉　秀則

いろんな節目に思い浮かべる言葉です。自分の周りの変化に対して、臨機応変に対応できる人。非常に素晴らしいことと思いますが、もし自分のなかであまり変化しない考え方があるなら、多少ストレスを感じることがあっても、思うところの言動をとることも必要かと思っています。抽象的なことを述べましたが、丹羽高校の生徒諸君に接してきた様に、小牧工業高校でも実践していきたいと思っています。丹羽高校では六年間お世話になり、本当に感謝しています。

追　伸

小牧工業高校は一学年五クラス（女子は各学年２名、合計六名。）とこじんまりした学校です。私は一年生の総てのクラスの体育と保健を担当しています。生徒諸君の喜んでる顔が浮かぶでしょう！では御機嫌よう。

無我夢中で過ごした日々

大羽　徹

丹羽高校では、新任として

五年間お世話になりました。三十三回生の一年生で初めて担任を持ち、三年生まで持ち上がりました。素直で気品のある生徒に囲まれて、また多くの先生方に支えていただき、無我夢中で過ごした毎日であったように思います。
　丹羽高校での初めての授業は今でも覚えていますし、初めて担任をした生徒は一生の思い出となると思います。そして、多くの先生方から助言をいただきました。丹羽高校で学んだことは、これからの私の教員としての基礎となり、今後生かしていきたいと思います。
　最近、色々なところで卒業生に会うようになりました。中には大学を卒業し、社会人になった卒業生とも会うことがあります。またどこかでお会いすることがあったら気軽に声をかけて下さい。

丹羽の思い出

堀尾　一彦

　丹羽高校へは計四年間お世話になりました。担任をすることなく去ることが少々心残りです。
　丹羽高校で過ごした四年間は自然の豊かさに気づかされ続けた日々でした。桜吹雪、なんじゃもんじゃの木、小麦畑、かるがも農法、忘れてはならない「豚の散歩」など枚挙に遑がありません。皆さんも足元の自然に目を遣ってみませんか。意外な感動が待っているかも知れません。
　さて、私の転任先は夜間定時制高校です。皆さんが部活を終え帰宅する頃は、授業の真っ最中です。今までとは環境が随分と変わりとまどうことも多々あります。
　丹羽高校と同様に現任高でも楽しく頑張っていこうと思っています。皆さんも悔いのない高校生活を送られることを祈念しています。

お世話になりました

高見　悠哉

　新任として丹羽高校に来てから四年間本当にお世話になりました。新任として来た私には様々なことが初めてで、担任や部活動の顧問など、なかなかうまく進めることができず、たくさんの生徒や先生方に助けていただいて本当に色々な経験をさせてもらいました。三十三回生の担任として、入学から卒業までつきあうことができたのもありがたいことでした。
　三十三回生とともに丹羽高校を去ることになりましたが、この学校で過ごした四年間は私の宝物です。新しい職場ではまた慣れずにとまどうこともありますが、丹羽高校の生活を思い出しながらがんばっています。丹羽高校の益々の発展を三河の地から祈っています。

早川かおり

　このたびの転勤で、生まれ育った知多の内海高校に勤務することになりました。海を眺めながらの通勤にもずいぶん慣れてきましたが、三年間勤めた丹羽高校を離れるのはさみしく、複雑な思いに駆られることがあります。
　丹羽高校の生徒は、素直で一生懸命な子が多く、新任の私は皆さんに随分助けられた部分があります。しかし、人間関係や進路で迷い、保健室でいろんな話をした子もいました。皆さんはまだまだ体も心も成長途中です。一生懸命頑張ることももちろん大切ですが、迷ったり、悩んだりしたときには、ちょっと立ち止まり、誰かと話したり、これまでを振り返ったりしながら、またゆっくりと歩き出すことも大切なことだと思います。素敵な大人になった皆さんとまたお会いできるのを楽しみにしています。

記念すべき初任校

濱保　彩（旧姓：西橋）

　晴れ渡る青空に、桜と菜の花、緑の畑の中には白い校舎が映え、初めて丹羽を訪れた日の感動を今も鮮明に覚えています。学生のころはむしろ人工的な美しさに憧れていたし、研究所時代は、納期に追われ盆と正月くらいしか感覚が無かったので、余計に季節感溢れる景色が新鮮だったのかもしれません。
　日々の諸先輩方の教育に対する熱い思いや、様々な場面指導はとても勉強になりました。そして一番の魅力は、生徒の素直さです。規律を守り、品位を培う教育は健全だと思います。赴任校は心に問題を抱えたり冷めている生徒が多く、また九十分授業を展開するための教材研究も手探りなので、今年は色々な意味で試練の一年だと思っています。幸せな二年間をありがとうございました。丹羽高校の思い出はすべてが素晴らしく、きっと色褪せることなく大切に、自分の心に仕舞っておきます。

思い出をありがとう

小嵜　由佳

　二年間という短い時間でありましたが、大変お世話になりました。
　笑い、怒り、泣き、喜んでいるうちに、矢のように過ぎさった二年。思い出がありすぎてこのスペースには書ききれません。しかし改めて思うことは、丹羽高の皆さんと一緒に過ごせて幸せだったということです。山に登った修学旅行、お揃いのタオルを振り回し応援した球技大会。そして目標に向かってひたむきに練習した部活。いざという時に熱くなれる心を持った君達が大好きでした。また行事だけでなく、進路実現のために懸命に机に向かう姿は、今でも胸に残っています。ひたむきに頑張ることの素晴らしさを改めて実感しました。卒業式、離任式で涙がこぼれるほどたくさんの思い出をありがとう。これからも目標に向かい充実した日々を送って下さい。岡崎の地より応援しております。

平成二十一年度 同窓会総会開催のご案内
～花火を見ながら皆で語り合おう～

平成二十一年度の同窓会総会及び懇親会を左記のように開催いたします。同窓会会員の皆様には万障お繰り合わせの上多数の皆様のご出席をお願い申し上げます。

一、期日　平成二十一年八月十日（月）

二、時間　受付　午後五時三十分より
総会及び懇親会　午後六時より

三、場所　臨江館
犬山市犬山西大門先八―一
〇五六八―六一―〇九七七
（犬山城東五〇〇m。名鉄犬山線犬山遊園駅下車西へ徒歩五分）

四、会費　三、〇〇〇円
（新入会員の第三十三回生は一、〇〇〇円）

五、注意
当日は毎年恒例の「犬山花火大会」の日ですので交通規制等十分にご留意ください。

同窓会運営協力金のお願い

平成十二年度より同窓会運営資金確保を目的として会員の皆様にお願いしております。主に年百万円ほどかかっている同窓会報の発送費として活用させていただいております。昨年より計画いたしております会員相互の情報交換のできる場所づくり（ホームページの運営）や在校生への支援・協力体制の充実等を考えておりますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

一、協力金の額
一口　一、〇〇〇円より。何口でも結構です。

二、振込口座
口座名義はそれぞれ「丹羽高等学校同窓会」で統一してあります。（誠に勝手ではありますが、振込み手数料は各自でご負担願います。）

①三菱東京ＵＦＪ銀行犬山支店
普通預金　3513511

②郵便局
No.12130-93793821

③いちい信用金庫
普通預金　0094815

第三十三回同窓会幹事

◇新幹事

三〇一　浅井　学
　　　　船橋　成明
三〇二　石原　一樹
　　　　渡辺　茜
三〇三　広瀬　直紀
　　　　後藤　真由子
三〇四　吉田　賢人
　　　　岩田　奈々
三〇五　木場　駿貴
　　　　鈴木　杏奈
三〇六　河野　海
　　　　岩井　桃子
三〇七　櫻井　裕己
　　　　山田　都香

◇学年代表

三〇四　吉田　賢人
三〇七　山田　都香

◇部活動紹介

平成21年度

◇野球部
第59回愛知県高等学校優勝大会尾張地区予選
5位　↓県大会出場
第107回全尾張高等学校野球選手権大会尾張地区予選
ベスト5　↓決勝大会出場

◇男子バレーボール部
第63回愛知県高等学校総合体育大会バレーボール競技尾張支部予選会
男子団体　4位　↓県大会出場
優秀選手賞

◇男子バスケットボール部
第63回愛知県高等学校総合体育大会バスケットボール競技尾張支部予選会
男子団体　3位　↓県大会出場
優秀選手賞

◇新体操部
第63回愛知県高等学校総合体育大会新体操競技尾張支部予選会
団体　4位　↓県大会出場
個人Ｂ　優勝

◇水泳部
第63回愛知県高等学校総合体育大会水泳競技尾張支部予選会
男子個人100m平泳ぎ
3位　↓県大会出場
女子個人100m平泳ぎ
↓県大会出場

◇弓道部
第63回愛知県高等学校総合体育大会弓道競技尾張支部予選会
女子団体　優勝　↓県大会出場
女子個人　優勝　↓県大会出場
女子個人　6中　↓県大会出場

◇剣道部
第63回愛知県高等学校総合体育大会剣道競技尾張支部予選会
女子個人ベスト8
↓県大会出場

◇御転出の先生方

森崎　忠彦　先生　千種高校へ
椎葉　秀則　先生　小牧工業高校へ
大羽　徹　先生　一宮商業高校へ
高見　悠哉　先生　知立高校へ
早川かおり　先生　内海高校へ
濱保　彩（旧姓 西橋）先生　神奈川県立川崎高校へ
小寄　由佳　先生　岡崎西高校へ
池山　隆敏　先生　旭野高校へ
堀尾　一彦　先生　一宮高校へ

情報提供のお願い

同窓会として皆さんの活躍を知り得るには、新聞等のマスメディアからの情報に頼らざるを得ません。報道に載らない部分の活躍を収集することは誠に困難であります。文化・芸能・スポーツ等に関わらず、今皆さんが携わっている仕事など、どしどし情報をお寄せ下さい。

送付先
丹羽高等学校同窓会あて
〒四八〇―〇一〇二
丹羽郡扶桑町大字高雄字柳前九五
TEL〇五八七―九三―七五七五
FAX〇五八七―九三―〇四七二